

● 創部 90 周年記念エンブレム制作のお知らせ



近づく応援団創部90周年を記念して、新しいエンブレムを作成いたします。鮮やかな金色を主体とし、現在のものより立体感を増し、質感もアップした Goodデザインです。是非、秋の六大学野球で着用してみてください。お申込みは90周年実行委員長の風間 進(090-9673-4271/kazama.susumu@zpost.plala.or.jp) までご連絡ください。

- 申込期限 2019年7月末日まで
 - 金額 4,000円(税込)+送料1,000円(全国一律)
 - 発送時期 2019年9月中旬ごろニュースプランニング社より発送します。
- ※写真はイメージです。

● 東京六大学野球春季リーグ戦日程

- 4月13日(土) 東大—法大 慶大—立大
- 4月14日(日) 立大—慶大 法大—東大
- 4月20日(土) 東大—早大 明大—立大
- 4月21日(日) 立大—明大 早大—東大
- 4月27日(土) 法大—慶大 早大—明大
- 4月28日(日) 明大—早大 慶大—法大
- 5月 4日(土) 法大—立大 慶大—東大
- 5月 5日(日) 東大—慶大 立大—法大
- 5月11日(土) 早大—立大 東大—明大
- 5月12日(日) 明大—東大 立大—早大
- 5月18日(土) 早大—法大 明大—慶大
- 5月19日(日) 慶大—明大 法大—早大
- 5月25日(土) 法大—明大 東大—立大
- 5月26日(日) 立大—東大 明大—法大
- 6月 1日(土) 早大—慶大
- 6月 2日(日) 慶大—早大

● 東京六大学応援団連盟 第 66 回 六旗の下に
2019年6月23日(日) 開演
開演場所: 神奈川県民ホール / 時間は未定です

● 東京六大学応援団連盟 第 45 回 合同演奏会
2019年6月29日(土) 開演
開演場所: 府中の森芸術劇場 / 開場 17:30

● 旧幹部送別会が開催されました

平成31年2月16日の旧幹部送別会にて、新たに24人がOB・OG会の一員になりました。



● OB・OG会費納入のお願い

OB・OG会費のご納入をお願いいたします。会費は本会報の発送等OB・OB間の親睦および現役部員の活動支援の為、有効に使用させていただきます。何卒よろしくお願い申し上げます。

- 平成27年～31年ご卒業 5,000円(OBOG会運営費1,000円、学生支援金4,000円)
 - 平成26年以前にご卒業 8,000円(OBOG会運営費4,000円、学生支援金4,000円)
- ※同封の郵便振替用紙をご利用いただきますと手数料がOBOG会負担となります。
- 銀行振込の場合の振込先
三井住友銀行 池袋支店 普通 625914 立教大学応援団OB・OG会 会計委員 浅井雅 あさいただし
三菱東京UFJ銀行 池袋支店 普通 361078 立教大学応援団OB・OG会 会計委員 浅井雅
(会計 浅井雅)

● 平成31年度OB・OG総会・懇親会のお知らせ

平成31年度OB・OG総会・懇親会を下記の通り開催いたします。

- 日時: 2019年4月14日(日) 13時30分より
- 場所: コンフォート <外苑前駅 徒歩2分 地図参照>
(<http://www.aoyama-comfort.com/>) 03-3479-2814

■ 総会終了後、別会場にて懇親会も実施いたします。(会費: 6,000円)
出欠のご連絡につきましては、以下までよろしくお願い申し上げます。細川義洋 携帯: 080 3455 8049
E-Mail: st.4416.hosokawa@gmail.com



【編集後記 芙蓉の高嶺】

たった一人で訪れても、何故か居心地が良い。少し怯んだ心を立て直し、ぐらついていた足を固めてくれる。応援席は再び立ち上がって明日に向かう為の場所でもある。
(編集責任者 細川義洋)



● 平成31年度新幹部体制スタート —「実」(一体化と個性)—



(後列左側より) 宇津木彩音、高橋優佳、田沼和、岸野真帆、後藤萌、竹之内映美、菅田紗里奈、升田初夏、池永京佳、渡邊咲絵子、岡本茉莉絵
(前列左側より) 鈴木志穂、大久保いつき、森美幸、佐藤優依子、降矢未寿暉、太田悠介、阿部真由子、石田茉歩、三輪ひかり、熊谷有花、松岡春佳



・本年度団長を務めます太田悠介と申します。
本年度は「実」というスローガンの下、応援団という一本の木になる実の様な団員全員のまとまりを、選手の方とお客様にも伝え、応援席を一つにし、勝利へ導いて参ります。今後共よろしくお願い致します。



・主務を務めます阿部真由子と申します。
本年度は「纏まり」や「人数の多さに埋もれない個性」を重視し、大人数であるからこそ出来る事を追求して参ります。伝統や文化を継承しつつ、時代に順応する事で後世に引き継いで参りたいと考えております。



・リーダー部長を務めます降矢未寿暉と申します。
本年度は「結束」というスローガンの下、体育会各部、お客様、そして三部を結束させ、更なる進化を遂げた応援をご覧いただきます。OBOGの先輩方にも沢山の活力をお届けできる様、精進して参ります。



・吹奏楽部長を務めます石田茉歩と申します。
吹奏楽部では、「Oneness」というスローガンを掲げました。1年間全員で同じ目標に向かって纏まりつつも、自分にしかできないことを考え、一人一人が掛け替えのない存在になることを目指して参ります。



・チアリーディング部長を務めます松江実奈乃と申します。
現在44名で活動する私達はスローガンに「color」を掲げ、全員が個性(色)を発揮し、色彩溢れる応援席を作り上げて参りたいと思います。新入部員を迎え、更なる成長に向けて励んで参ります。

● 若手コーチに聞く

現役部員の一番近くで指導している若手コーチの皆さんとインターネット座談会を開きました。



丸山 純之介 コーチ (B) 武田 菜央香 コーチ (B) 遠藤 圭祐 コーチ (L) 小澤 悠 コーチ (C) 花輪 知映 コーチ (C) 岡谷 宏紀 コーチ (L)

ーコーチを引き受けられた理由とかモチベーションを伺えますか？

丸山 やっぱり、現役を応援したいという気持ちからですね。
岡谷 人に尽くし人の為動く事が私のモットーです!!!
遠藤 先輩方への恩返しと後輩への恩送りと言ったところでしょうか。
花輪 応援団生活で学ぶことがたくさんあったので、現役にも良い経験をして貰えたらと。
小澤 後輩達に身近な存在のコーチとして役に立ちたかったからでしょうか。
武田 何か新しいことにチャレンジしたいと思っていた時、このお話をいただきましたので。

ー何か不安なことは？

岡谷 ないです!
遠藤 あります! 私より厳しい後輩(岡谷コーチ)がコーチになったことです!
岡谷 心外ですね。私は仏のリーダー部長と呼ばれていました。遠藤先輩こそ鬼の・・・。

ー応援団の現役は大変なことが多いですが、チアのお二人は現役時代どうやって克服しましたか？

小澤 幹部になることを夢見て頑張ったりして。でも幹部になったら、一番大変でした。(笑)
それでも、四年間、同期と励ましあったり愚痴りあったり。
花輪 小澤コーチとは一番愚痴りあってましたが、辛い経験も今活かされていると思います。

ー現役部員へのアドバイスはありますか？

小澤 四学年それぞれ良い経験ができるので、まずは楽しむ事を忘れずに全うして欲しいです。
武田 この団体でしか味わえない楽しさを見つけてもらいたいです
丸山 自分達が、どのようにしたいかを考えてほしい。私達の経験も必要なら取り入れて。
遠藤 『やらなかった』という後悔をしないように、何事もチャレンジして下さい。
岡谷 勉強して遊んで恋愛して単位取って就職決めて4年で卒業して下さい。

ー吹奏楽部は本来文化部ですから応援団のマインドにチェンジすることが課題ですよ。

丸山 フレッシュャーズキャンプなどで体育会の方と触れ合い、選手を応援させてもらうからには、自分たちも体育会らしい厳しさを乗り越えないといけない、そんな意識付けが出来ました。
武田 本当はやりたかった事ではなかったかもしれないですが、先輩後輩同期という“人との繋がり”や応援団しかないチャンパの存在もとても大きいと思います。

ーここまで皆さんの話を伺っていると、応援団の他にはない魅力を感じてらっしゃいますね。

花輪 誰よりも濃い4年間を過ごすことが出来たこと、信頼出来る仲間を得られたことですね。
岡谷 心身ともに鍛えられた事が今の職場でもかなり助かってっています。
武田 立教だけでなく他大学も含めて卒業しても付き合える同期・先輩・後輩に出会えたことです。
丸山 同じです。こんなにも人と出会える団体はないなと思います。

ー最後になりますが、皆さん達自身がコーチとなり楽しみにしていることはなんですか？

丸山 良い刺激にもなると思っています。
岡谷 現役の時とは違って、素のままの自分で現役と酒を飲めることですね。
花輪 関わりのない学年の後輩と仲を深めたいです。
遠藤 リーダー部の人数が増えたので、新たな部への応援やステージ演出の多様性が出せること。

ー様々な交流やコーチならではの楽しみも色々ありそうですね。(編集委員 元雄美由紀)

● 校歌「栄光の立教」編曲秘話

神宮に鳴り響く校歌「栄光の立教」。その高らかなファンファーレには、応援団関係者なら誰もが心を動かされることでしょう。そのファンファーレをつけて、校歌を現在の形に編曲された昭和54年卒井上義之先輩に、校歌編曲に込めた思いを伺いました。



ーまずは校歌編曲の経緯を教えてくださいませんか？

校歌を編曲したのは、私が三年生で副指揮だった昭和52年のことです。当時、明治大学が定期演奏会を校歌で締めくくっていて、それが、とても格好良かったので、立教もそうしたいと、正指揮者だった遠藤政伸先輩に申し出ました。そうしたところ、先輩からは締めくくりは聖歌497番(神ともにいまして)をやりたいとのご意見があり、聖歌と校歌をメドレーにして私が編曲して、定期演奏会の締めくくりとしました。

"聖歌風"の着想としては、一年生の夏合宿のパート練習(フルート)のとき、2年上の先輩からのリクエストで校歌を音楽室のオルガンでコラール風に弾いたときの印象がありました。これが校歌編曲の第一段階です。

ー第一段階ですか？

はい。そして、幹部になった春合宿に新しい編曲の校歌を持ち込むにあたって、定期演奏会で演奏した聖歌風の校歌に変更を加えました。神宮で演奏することを念頭に、もともとあった校歌の前奏の音を上げてトランペットのファンファーレにしたりしました。

ーあの♪ターン・タターン♪という前奏は、その時に出来たのですか？

法政の校歌冒頭部が好きで、ああいうファンファーレを入れたいと思いました。それで第一応援歌に出てくるトランペットのファンファーレのイメージを取り入れて作りました。

ーそう言えば第一のその部分を思い切り遅くすると、似たような音型になりますね。

私は、これを"立教のファンファーレ"って名付けました。このファンファーレは、同じ時期に編曲(補作曲)した学生歌(紫の旗)の冒頭にも使っています。

ー軽やかに撥ねるような音型ですよ。立教らしい。華やかさと聖歌風的美しさ。それを併せ持っているのが今の校歌というわけですね。それにしても、立教の校歌に明治や法政も影響を与えているのですか？

慶應の塾歌についても、オブリガートがとても美しいので参考にしました。オブリガートというのはメロディを引き立てる為に演奏されるいわゆる裏メロディで、立教の校歌では、主旋律のウラでユーフォとサクスが奏でています。

ー他大学から沢山のインスピレーションを貰っているわけですね。さて、そんな校歌ですが編曲者として、演奏上、意識して欲しいことはありますか？

遅くなりすぎず、豊かさと美しさを意識してもらうことが第一ですね。それとユーフォとサクスのオブリガートを大切にしたいです。
あと、これは一つお願いなのですが、今、演奏されている校歌は一部のパートが欠落しています。トランペットやクラリネットが3パートの筈が1パートになっていたり、チューバの楽譜がかなり間違っていたり(笑)。立教の校歌は和音が大切に、正しい楽譜を使えばもっと美しく響くはず。完全な譜面もあるので、是非、演奏してもらいたいです。

ー聖歌の美しさを内包した校歌、私も聞いてみたいです。どうもありがとうございました。(編集委員 西香織)